

令和7年（2025）9月3日～9月8日

令和7年度（2025）

第3回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和7年度（2025）第3回出雲市議会（定例会） 一般質問通告一覧表 目次

9月3日（水） 10:00 開会			9月4日（木） 10:00 開会			9月5日（金） 10:00 開会			9月8日（月） 10:00 開会		
順 番	議員氏名	ペ ー ジ	順 番	議員氏名	ペ ー ジ	順 番	議員氏名	ペ ー ジ	順 番	議員氏名	ペ ー ジ
1	鐘 推 義 憲	3	1	糸 賀 太 郎	10	1	三 島 好 弘	17	1	湯 淺 啓 史	24
2	吉 岡 拓 也	4	2	錦 織 稔	11	2	後 藤 由 美	18	2	大 村 朋 寛	25
3	坂 本 祐 麻	5	3	福 田 実	12	3	三 加 茂 圭 祐	19	3	川 上 雅 文	26
4	板 垣 成 二	6	4	板 倉 一 郎	13	4	今 岡 久 人	20	4	寺 本 淳 一	27
5	成 相 寛 之	7	5	児 玉 俊 雄	14	5	吉 井 安 見	21			
6	大 谷 良 治	8	6	石 橋 広 信	15	6	宮 本 享	22			
7	保 科 孝 充	9	7	長 廻 利 行	16	7	長 島 和 孝	23			

質問者	1 4	鐘 推 義 憲
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 本市における「シティプロモーション導入」および「シビックプライド醸成」に向けた取り組みについて伺う		
① シティプロモーションについて伺う。 ア 意義および目的 イ 必要とされる理由および導入効果 ウ 他自治体の先進事例 エ 本市の取り組みの現状 オ 本市における導入方針 a シティプロモーション戦略策定の意義 b 本市の強みと課題 c 戦略の効果 d 戦略の策定スケジュール ② シビックプライド醸成について伺う。 ア 意義および目的 イ 効果およびメリット ウ 醸成方法および効果測定 エ 他自治体の先進事例 オ 本市における取組方針 a 取組意義と効果 b 今後の取組の具体策		

質問者	5	吉 岡 拓 也
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 不登校支援の現状と課題について伺う		
① 不登校支援の現状把握について伺う。 ア 出雲市における不登校児童生徒の現状と各学校の支援状況をどのように把握し、課題を認識しているか。		

質問者	2	坂 本 祐 麻
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 人口減少社会における出雲市の移住・定住戦略について		
① 『出雲市お試し居住助成金』等移住・定住促進施策導入後の反響について ア 直近3年度分のUIターン者数及び助成金実績について伺います。 イ 実際に移住・定住された方からは、どのような声・意見が寄せられているでしょうか。加えて、その後も市とのつながりが続いているのか伺います。 ウ 出雲市が実施している移住・定住施策はどのような施策があるか伺います。また、それぞれの施策の今年度の目標値及び現在の状況について伺います。 ② 『出雲市お試し居住助成金』について ア 『出雲市お試し居住助成金』を利用された方に対し、市の職員は直接（面談等）会われているのか、また、市内事業者(所)訪問に同行されているのか伺います。 ③ 縁結び定住課としての今後の取組について ア 今後、UIターン者に関するどのような数値目標を掲げ、どのように取り組まれるのか伺います。 イ 公益財団法人ふるさと島根定住財団、他市の定住促進担当課や担い手不足と聞く漁業関係者、農業関係者などと、情報共有や協働を行っているのか伺います。		

質問者	26	板垣 成二
質問事項・質問内容		
(1) 民主主義の根幹である選挙の投票率向上のための施策を伺う		
① 投票率低下の理由 ア 全体的、年齢別 ② 投票率向上のための施策（取組実績・今後の方針） ア 全体的、投票種別、年齢別 イ 18歳未満の主権者教育の取組		

質問者	6	成 相 寛 之
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 出雲市の耕作されていない農地の現状及び対応策について		
① 出雲市内の耕作されていない農地の現状、今後の対応策について伺う。 ② 担い手、後継者、兼業農家の対策及び育成について伺う。 ③ 農林水産省「今後（来年、５年後、１０年後）の米の生産意向に関するアンケート調査」の活用法について伺う。		

質問者	20	大谷良治
質問事項・質問内容		
(1) 総合医療センターの経営状況と出雲医療圏における役割について		
① 総合医療センターの経営状況と今後の対応策について伺う。 ア 令和6年度の決算状況 イ 経営改善に向けた取組 ② 出雲医療圏における総合医療センターの役割について伺う。		

質問者	25	保 科 孝 充
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 戦後80年・戦没者の願いを込めた平和教育の実態を伺う		
① 出雲市内の先の大戦で亡くなられた戦没者数を伺う。 ア 各地域の戦没者数 イ 各地域の終戦時・昭和20年の人口 ウ 各地域の昭和20年の人口に対する戦没者の割合 ② 各地区の戦没者を追悼する施設について伺う。 ア 市内には何か所あるのか。 イ 施設の管理は、それぞれどのような形で行われているか。 ③ 平和教育・学習について伺う。 ア 小中学生の教育・学習 a 市内での教育・学習 b 県外（特に平和記念公園・原爆ドーム）での教育・学習 イ 市民の学習		
(2) 公共下水道点検・整備の実態を伺う		
① 島根県が設置している流域下水道「宍道湖流域下水道」で宍道湖西部浄化センターに通じる下水道管路について伺う。 ア 下水道管路の大きさ（直径）と深さ、延長について伺う。 イ 下水道管路が通っている上部の土地は道路のほかにあるか。 ② 出雲市内の公共下水道の管路とマンホールについて伺う。 ア マンホールは旧市町ごとに何か所あるのか。 イ 最大で直径・深さ、また延長はどの程度か。 ③ 安全基準について伺う。 ア 点検を行う場合に、有毒ガス発生状況の直前調査は行われているか。 イ ガスマスクの常備はされているか。 ウ 転落防止の安全ベルト（いのち綱）は常時設置されているか。 ④ 点検業者に対する指導について伺う。 ア 危険防止のための作業手順のマニュアル・ガイドラインは示されているか。		

質問者	3	糸 賀 太 郎
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 猛暑期と冬季閑散期における観光誘客の取組について		
① 近年の猛暑による観光客・事業者双方の疲弊や経済的停滞への認識について伺う。 ア 観光客への熱中症予防や滞在環境改善のための市の取組状況 イ 今後の観光客・事業者双方の暑さ対策 ② 冬季の閑散期における観光需要喚起について伺う。 ア 冬場の入り込み客減少による観光地経営の課題 イ 冬季観光資源の掘り起こし（食・文化・イベント等）の現状と課題 ③ 通年型で持続可能な観光地経営に向けた市の戦略について伺う。 ア 季節変動に左右されない年間を通じた観光プロモーションのあり方 イ 公共交通や宿泊施設、観光人材の確保など、地域全体での観光インフラ強化策		

質問者	19	錦織 稔
質問事項・質問内容		
(1) ふるさと・キャリア教育の充実を		
① 農林水産業や地域の産業・暮らしなど多様なテーマを学びの「広がり」と「深まり」をもってバランスよく扱う必要があるが、取り組みを伺う。 ② 学校教育と地域住民・団体・企業・大学との連携・協働体制を伺う。 ③ 教員の負担・指導力について ア 教材研究や外部調整に時間がかかるが、どのような体制か伺う。 イ カリキュラムや教材の体系化、指導資料の整備を進める必要があるが、現状を伺う。 ④ ふるさと・キャリア教育の継続性について ア ふるさと・キャリア教育は長期的な取り組みが不可欠だが、活動の継続性をどう認識されているのか伺う。 イ 学校ごとに熱意や取り組みに差が出やすいと考えるが、統一的なビジョンと支援を伺う。 ⑤ 子どもたちの「ふるさと意識」の醸成には、ふるさと・キャリア教育を「地域だけの閉じた学び」にせず、出雲から世界を考える視点を取り入れる必要があると考えるが、所見を伺う。		
(2) 帯状疱疹ワクチン・子宮頸がん（HPV）ワクチンの接種状況		
① 帯状疱疹ワクチン・子宮頸がん（HPV）ワクチンの接種状況を伺う。 ② 帯状疱疹ワクチン接種のリマインダーや多言語資料、副反応の相談体制を伺う。 ③ 男性へのHPVワクチン接種の助成の考えについて伺う。 ④ キャッチアップ接種への助成の考えについて伺う。		
(3) 防犯灯の設置について		
① 市設置の防犯灯について ア 小中学校からの設置要望、設置等について現状を伺う。 イ 防犯灯の設置基準に自動販売機の照明や民家の外灯なども考慮されているが、撤去や空き家になった場合の設置について伺う。 ② 町内会設置の防犯灯について ア 維持管理費について、世帯当たりの負担が増加している町内会もある。市が電気料金の一部を補助するなどの支援を検討すべきと考えるが所見を伺う。		

質問者	1 2	福 田 実
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 「島根かみあり国スポ全スポ２０３０」に向けてのまちづくりについて伺う		
① 「島根かみあり国スポ全スポ２０３０」に向けての現在の準備状況を伺う。 ② 現在のホテルの宿泊可能者数、今後の目標を伺う。 ③ 現在の道路の整備状況、渋滞対策、今後の課題を伺う。 ④ 「島根かみあり国スポ全スポ２０３０」開催に向けての意気込みを伺う。		

質問者	28	板 倉 一 郎
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 夏休み子ども（小学生）の居場所について		
① 児童クラブに通わない夏休みの子どもの居場所について ア どのような場所があるのか伺う。 イ 放課後子ども教室の活用の現状を伺う。また、小学校全校区へ広げる考えはないか伺う。 ② 学校施設の開放について考えを伺う。 ③ 学校施設でのエアコン設置が進む中、夏季休業（夏休み）の期間について現在より短縮することを検討する考えはないか伺う。		
(2) 企業の暑熱対策への支援について		
① 令和7年6月より、労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策が義務化されたが、その内容について伺う。 ② 暑熱対策への支援について伺う。 ア 現在の暑熱対策への支援について伺う。 イ 島根県では、特殊鋼・鋳物関連産業に対し暑熱対策支援の補助を実施されている。出雲市として、製造業全般に対し支援する考えはないか伺う。		

質問者	18	児 玉 俊 雄
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 少子化対策の強化について伺う。		
① これまでの少子化対策の成果を伺う。 ② 多子世帯に対する支援策にはどのようなものがあるか伺う。 ③ 多子世帯に対し、これまでとは異なる思いきった支援策を打ち出す考えはないか伺う。		
(2) 地域の祭り支援補助金の拡充について伺う。		
① 地域の祭り支援補助金及び出雲神話まつりの実績を伺う。 ② 出雲神話まつりの評価を伺う。 ③ 地域の祭り支援補助金の拡充についての考えを伺う。		

質問者	13	石橋 広 信
質問事項・質問内容		
(1) 投票が難しい高齢者の方々への投票環境向上について伺う		
① 投票が難しい高齢者の方々の過去3回の市議会議員選挙の投票状況について伺う。 ア 65才～74才の投票率の推移 イ 75才以上の投票率の推移 ② 過去3回の市議会議員選挙の投票所の設置数の推移と今後の方針に関して伺う。 ア 当日投票所 イ 期日前投票所 ③ これまでの高齢者等への投票支援はどのようなものがあったか伺う。 ア 投票所における支援策 イ 投票所以外における支援策 ④ 投票が難しい高齢者の方々が投票しやすい体制づくりについて伺う。 ア 【投票所に行ける人】 投票所の施設点検による、より良いバリアフリー化と投票所での分かりやすいコミュニケーションボードの活用法とその周知法に関して伺う。 イ 【投票所へ行けない人】 デマンドタクシー等を活用した投票所への無料送迎に関して伺う。 ウ 【外出できない人】 郵便による不在者投票の対象者枠の拡大に関して伺う。 エ 【今後の投票所のあり方を考えて】 今後、ますます進む高齢化と、人材不足による投票所の維持の難しさに対して、将来を見据えた、市独自の移動投票所の設置に関して伺う。		
(2) 救急搬送時におけるマイナ救急について伺う		
① マイナ救急の全国一斉開始に伴う本市の取組について伺う。 ア マイナ保険証とは何か。その普及状況やメリットについて イ マイナ救急の内容、メリットについて ウ マイナ救急活用に向けた課題及び取組について		

質問者	30	長 廻 利 行
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) コミュニティセンターの整備計画について伺う		
① コミュニティセンターの老朽化の状況について ア 現在、本市に設置されているコミュニティセンターの中で、古いものでは何年経過しているのか。 イ 近年、整備（新築等）された、また整備しようとするコミュニティセンターは、何年経過したものが整備されているのか。 ウ 建物の法的な耐用年数は何年か。また、現在、指定避難所としているコミュニティセンターには、耐震性に問題があるものはないのか。 ② 今後のコミュニティセンターの整備方針について ア 老朽化したコミュニティセンターを利用している市民からは、どのような声が届けられているのか。また、バリアフリー法や出雲市福祉のまちづくり条例に関して問題はないのか。 イ コミュニティセンター整備について、これまで市議会へ陳情されているもの以外に、地元から要望されているものがあるのか。 ウ 一般的に老朽化したものから新築（建て替え）していくと考えるが、今後、どのような判断基準により優先順位をつけコミュニティセンターを整備していくのか。		

質問者	9	三 島 好 弘
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 自治体情報システムの標準化について		
① 自治体情報システムの標準化の具体的な内容を伺います。 ② 自治体情報システムの標準化を行うことにより期待できるメリットは何か、また一方でデメリットがあれば伺います。 ③ 自治体情報システムの標準化作業の予定（期限）と現在の進捗状況を伺います。		
(2) 消防署に対する救急要請の状況等について		
① 熱中症に関する救急要請の状況について ア 熱中症にかかる救急要請の近年の件数の推移を伺います。 イ 特に単身高齢者世帯の場合には、誰が救急要請を行っているのか伺います。 ウ 介護を要する方の救急要請があった場合で、ご本人の病歴やかかりつけ医が不明な場合には、どのように対応をしているのか伺います。 ② 交通事故や火災の現場で対応した隊員へのメンタルケアについて ア 先頃、多伎地域の山陰道で交通事故が発生し、死傷者がありました。 このように現場対応を行った隊員へのメンタルケアについてはどのような取り組みを行っているのか伺います。		

質問者	17	後藤 由美
質問事項・質問内容		
(1) 高すぎる国民健康保険料の負担軽減について		
① 国民健康保険料が2年連続値上げとなり、国保世帯を苦しめている。負担軽減を望む声にこたえ、次の点を伺う。 ア 国保料を1世帯1万円引き下げのために、一般会計からの繰入れや国保基金の活用を求める。所見を伺う。 イ 国保料には子どもも含めて国保に加入する家族が一人増えるたびに賦課される均等割の仕組みがある。この均等割のうち子ども（18歳になる年度の年度末まで）にかかるものは、子育て支援策の観点から廃止すべきと考える。所見を伺う。 ウ 国は8月15日、国保料の滞納で窓口負担が10割負担となった世帯への対応として、自己負担が困難だとの申し出があれば、市町村の判断で窓口負担を3割に出来るとする答弁書を閣議決定した。市としての今後の対応を伺う。		
(2) 新たな観光財源として検討されている宿泊税について		
① 観光振興に資する新たな安定財源＝宿泊税の導入について検討する「出雲市新たな観光財源検討委員会」が設置され、第1回目の検討委員会が開催されたが、すでに様々な意見・疑問が出されている。以下について伺う。 ア 市は「出雲市観光基本計画」の実践のためには宿泊税などの新たな財源が必要と言っている。その理由、税収見込み、使途を伺う。 イ 市内ホテルや旅館の宿泊者は「観光目的」外の利用者も多い中、「観光振興が目的といいながらその財源を宿泊業への課税のみに求めるのは安易で不公平」などの声がある。市の所見を伺う。 ウ 宿泊事業者への説明、また意見を伺うのはどのタイミングでどういう方法で行う予定なのか伺う。 エ 観光の発展にとって公共交通の充実やバス・タクシー運転手確保などが最重要課題だと考えるが、「宿泊税」導入によって改善されると考えているのか、所見を伺う。		

質問者	4	三 加 茂 圭 祐
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 妊娠・育児における母親支援等について		
① 妊娠期から幼児期までの母親支援について伺う。 ア 妊娠期から幼児期までの母親支援について、出雲市の特色は何か。 イ 家事育児訪問サポート事業について、対象者要件の3歳児未満の乳幼児を5歳未満の乳幼児に改め、対象者を拡充することはできないか。 ウ 産後ケア事業、家事育児訪問サポート事業等の妊娠期から幼児期までの母親支援施策のPRを、どのように行なっているか。 エ 当該PR手法を第三者の観点から評価を受け、改善に繋げる仕組みはあるか。 ② 男性の家事・育児への参加促進について伺う。 ア 男性の家事・育児への参加促進のために、市ではどのような施策に取り組んでいるか。 イ 出雲市内の企業におけるイクボス宣言の推進状況と成果をどのように評価しているか。		

質問者	1 5	今 岡 久 人
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 熱中症対応について		
① 今年度、出雲消防本部管内で熱中症患者の搬送は何件ありましたか。 ② 島根県内では、どこ消防本部が搬送件数が多かったのですか。 ③ 患者さんやそのご家族に対する予防などの指導はされていますか。 ④ 市民の皆さんに熱中症対策を広く伝える手立てはありますか。		
(2) 渇水緊急対策事業の実施結果と今後の渇水対策事業のあり方は		
① 渇水緊急対策事業の実施結果について ア どのような事業の申請が何件ありましたか。 イ 必要な経費はいくらでしたか。 ② 少雨によって今年の米作に影響はありましたか。 ③ 今後も今夏のような気象が予想されていますが、水を確保する手段等は考えていますか。		

質問者	1 1	吉 井 安 見
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 学校給食の充実・無償化を		
① 出雲市でも学校給食費の無償化を実施し、子育てにかかる経済的負担の軽減を求めるが、市の考えを伺う。 ② 同時に、給食が果たす役割が後退してはならないと考える。栄養はもとより文化的にも豊かな給食の提供が重要と考えるが、市の考えを伺う。 ③ 地産地消を推進し、出雲市の特産品や地域が見える給食にすべきと考えるが、市の取り組みを伺う。		
(2) コメ不足について		
① コメ不足・米価高騰の出雲市内での影響について伺う。 ② 政府がコメの増産に舵を切るとの方針を示すなか、農地の荒廃や施設の老朽化、経営、担い手確保などの様々な課題と対策について、市の考えを伺う。 ③ 生産性の向上などとともに、農家が再生産可能な価格・所得の保障の抜本的な拡充が必要と考えるが、市の考えを伺う。		
(3) 原子力防災の在り方について		
① 中国電力は立地・周辺自治体に対し、原子力関係の仕事に携わる職員の人件費として毎年約5億円を負担するとしているが、出雲市がこの負担金を受領する根拠は何か伺う。 ② 原子力防災の体制を自治体任せにし、行き詰まった核燃料サイクルにしがみつ়く国の原発推進の姿勢は無責任と考えるが、所見を伺う。		

質問者	29	宮 本 享
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 高校生へのふるさと教育について		
① 高校ネットワークコーディネーターの配置について、具体的な活動内容や期待する成果について伺う。 ② 事業の委託先はどのような民間事業者を想定しているのか、委託先はどのような方法で決定されるのかを伺う。 ③ 島根大学等の高等教育機関との連携について伺う。 ④ 市長自ら出かけて行う高校生へのふるさと教育について伺う。		
(2) 出雲市シティプロモーション戦略について		
① 出雲市シティプロモーション戦略の概要について伺う。 ② シティプロモーションアドバイザーの役割や期待する成果について伺う。 ③ 議員や市職員の出張時における情報発信について市長の見解を伺う。		

質問者	8	長 島 和 孝
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 猫の不妊去勢手術助成について伺う		
① N P Oも対象にした猫の不妊去勢手術の補助金創設について、市の所見を伺う。		
(2) 幼稚園の預かり保育の広報戦略について伺う		
① 幼稚園の預かり保育利用促進のための、具体的な広報手段、予算など伺う。		
(3) 保育園の使用済みおむつ持ち帰りについて伺う		
① 当該園の保護者、職員に対して無記名アンケートを実施するなど、関係者の意見を集める予定があるか。		
② おむつ処分費用を市が負担することについて、市の所見を伺う。		
(4) ギャンブル依存症対策について伺う		
① 市内の小中高生向けのギャンブル依存症予防教育について、市の所見を伺う。		
② 家族のうち収入が多い方がギャンブル依存症になった場合、児童手当の受給者を別の家族に変更できるか伺う。		

質問者	21	湯 淺 啓 史
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 地方消費税交付金の状況と使途について伺う		
① 市の財政状況において、歳入における地方消費税交付金は近年40億円を超えて増加傾向であり、欠かせない財源となっている。 ア 近年の消費税交付金額の状況 イ 地方消費税交付金の算定方法 ウ 定められている使途 エ 出雲市の事業充当状況		
(2) 市が他者と締結する包括連携協定の考え方を伺う		
① 出雲市が他者と締結している包括連携協定は、様々な性格のものがあり、また多数の協定が結ばれているのではないかと考えている。 ア 包括連携協定を締結する条件、要件などの基準はあるのか イ どのようなプロセスを経て締結に至るのか ウ 締結されている包括連携協定を管理（後追い）は誰が行っているのか、そのような部署はあるのか		

質問者	1	大 村 朋 寛
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) わが市における感染症及びその対策の現状について伺う		
① 新型コロナウイルスについて ア 感染による症状にはどのようなものがあるのか伺う。 イ 基礎疾患の無い8歳～40歳の方が、新型コロナウイルス感染症を直接要因として死亡した事例はあるのか、国・県も含め、市として把握している情報を伺う。 ② わが市において、マスク着用、予防接種の選択の自由は認められているのか伺う。 ③ わが市が実施する予防接種について ア 副反応や死亡事例などのリスクに関わる情報を、どのように市民に対して情報提供しているのか伺う。 イ 市民が主体的に接種を判断できるようにするために、何か取り組んでいる事があるのか伺う。		
(2) 出雲いりすの丘公園利活用事業について伺う		
① わが市の本事業に対する考え、着手した狙いは何か、具体的に伺う。 ② 本事業の契約業者の選定理由について、具体的に伺う。 ③ 令和6年10月に契約を交わした後、すぐに当該契約業者の代表者が変わったことについて、市の見解を伺う。 ④ 当初提案されていた事業計画が殆ど履行されていないが、市はその現状を把握しているのか、また具体的にどのような対応をしてきたのか伺う。 ⑤ 地元から、市と契約業者と地元との3者協議を要望されたが、契約業者が拒絶した。地元との協力姿勢が見えないことに対しての、市の見解と対応について伺う。 ⑥ 本事業について、地元に対して丁寧な説明が殆どないことで不安の声が挙がっているが、今後の対応について伺う。 ⑦ 本事業の今後の展開について伺う。		

質問者	10	川 上 雅 文
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 不登校児童・生徒の現状と対策について		
① 不登校児童・生徒は増加の一途をたどっている。出雲市では、「不登校対策指針」を策定して対応しているが、不登校児童・生徒を減少させる方策としてどのような効果が出ているのか伺う。 ② 小学校の低学年にも、少数ではあるが不登校児童、学校への行き渋り等の傾向がみられるようになってきたと伺っている。低学年の不登校児への対応はどのように行われているのか伺う。		
(2) 通学路の交通安全施設設置等の対策について		
① 「出雲市通学路交通安全プログラム」に基づき、毎年、各学校、地域自治協会等において、交通安全について注意喚起、指導、そして、危険個所への検討、整備が行われているが、具体的にどのように実践されているのか伺う。 ② 通学路での横断歩道や停止線など様々な標示(白線)が薄くなっている。その現状と今後の整備方針について伺う。整備については、管轄である警察、県公安委員会へ要望をしているとのことであるが、予算の関係で、いくら申請しても整備がなかなか進まない現状がある。市として出来る方策はないのか伺う。		

質問者	2 2	寺 本 淳 一
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) バス交通の現状と出雲市地域公共交通計画の進捗状況について伺う。		
① 市民満足度調査等の結果をふまえたバス交通に関する出雲市地域公共交通計画の現在の取組状況を伺います。 ② バス停は屋根もなく駐輪場もない場所が多いと感じています。 ア 雪や雨の降る時期や熱中症警戒アラートの発表が続く昨今、今後市としてどう対策を考えていくのか伺います。 イ 市内のバス停の数と屋根や駐輪場のないバス停はいくつあるのか伺います。 ③ 車の免許がない若者や高齢者とバス停が近くにはない市民への対策を伺います。		